

すぎのこ

134

公益財団法人 すぎのこ芸術文化振興会

2014 4/1

事務局：〒171-0022 東京都豊島区南池袋4-19-6 TEL.03-3984-2396 FAX.03-3984-2264
 飯能研修センター：〒357-0063 埼玉県飯能市飯能325-2 TEL.042-971-4121 FAX.042-971-4155
 滝沢研修センター：〒377-1611 群馬県吾妻郡滝沢村千原 TEL.0279-96-1015 FAX.0279-96-1662

2面・3面 新作紹介／園からのお便り／制作だより／講習会報告 ほか
 4面 助成・補助事業報告／事務局よりご挨拶／新人紹介 ほか

http://www.suginoko.org/

E-mail: support@suginoko.org



あれでも、昨年より、上演中に子ども達の反応がよく聞こえたような気がします（予想しない反応が返ってきたときに、笑わないようにするのが大変でした）。子ども達がよく笑ってくれると安心しますが、あまり反応が無いときでも上演後に感想を言ってくれる子がいると、しっかり観てくれたんだなと嬉しくなります。さらに子ども達を引きつけるような演技を、今年の課題にして頑張りたいと思います。

かもとりごんべえ班は、今年1～3月にかけて九州と首都圏を巡回しました。子ども達や先生方が、権兵衛さんに声をかけてくれたり、たくさん笑って観てくれました。また、お話の山場にさしかかった時の、子ども達の権兵衛さんを見つめる表情が印象的でした。お話を観た子ども達に、何か感じ取ってもらえたらいいなと思います。

一年間、わらしべ長者を演じさせていただきました。入団してから二作目ということもあり、前の年よりも余裕を持って演技ができたのではないかと思います。したが、やはり毎日公演していく中で、小さなミスもあって不安に感じたときもありました。

わらしべ長者班

菅谷 香純

かもとりごんべえ班

石山 和佳

いたことがありました。普段の子ども達の顔を見ることができ、楽しい時間を過ごせました。子ども達と交流できるひとときも、私どもには貴重な時間となっています。



とべ！ ドードー班

後藤 佳世

地球は、私達人間を含め、多くの生き物にとってかけがえのないものです。

ところが、最近人間の活動（家を建てたり家畜を飼ったり、畑を作ったりするために森林を伐採する）が原因で、工場の煙突から出る煙、自動車の排ガスなどの悪い空気が増え過ぎ、森林による空気清浄が間に合わず、地球を暖くしてしまっています。このような環境の変化で、これまで多くの野生動物が絶滅しています。これらの原因の多くが私達人間の活動によるものです。地球上で、人間だけが便利で都合よく生きていくことはできません。人間と多くの生き物が共に生きていかなければならないことは、地球の環境を守るといふことは、人間を含めた多くの生き物を守ることに繋がっていきます。そして、このことは、私達人間しかできないことであり、私達自身でやらなければならないことです。



「とべ！ ドードー」という作品は、絶滅したドードーという鳥と人間の男の子が冒険しながら地球について学んでいきます。ドードーという鳥を好きになり、それがきっかけで少しずつ木や森を大切に思う思いが生まれてくれたら嬉しく思います。

たのきゅうのうわばみ班

榎本 均

やっぱり、うわばみ（へび）が出てきて、怖くて泣きました。もう春になって、ひとつ大きくなったのに、やっぱり、怖くて泣きました。……

つい先日までは、「一年生になったら 一年生になったら……」と歌声が園舎に響いていました。この歌は、春を待たずに亡くなった、まどみちおさんの詩です。

してみると園の子ども達は季節の折々に、まるで小鳥がさえずるように一年中、歌っていることに気がつきます。

図書館で、まどみちおさんの詩集を開いたら、「どうさん」「やぎさんゆうびん」「ふしぎなポケット」など、私達が子どものころ歌っていた詩がなんと多いことか。その中に気に入った詩を見つけました。

もちろん、「どうさん」。鼻が長いね、とからかわれた象の子が、「ぼくの大好きなお母さんだつて長いんだよ」と逆に自慢する。もうひとつは、「くまさん」。春がきて目ざめた熊の子が、ぼんやりとして自分が誰だかわからない、川の水面に映った自分の姿を見て、「そうだ、ぼくは、くまだったんだ。よかったなあ」と安心する。そうか、子ども達が声をはり上げて歌うのは、自分の存在を確かめて自信をもつためだったのか。

私達は、子どもの存在によって、生命の大切さ、不思議さ、神秘さに遭遇しているんだと思えます。人形劇が、子ども達の心の中に、一編の詩であるように生き続けてくれればいいなあと、ふっと思ったりしています。



やなせたかしさん原作 「そっくりのくりのき」再演

平成26年度より故やなせたかしさん原作の「そっくりのくりのき」を再演いたします。きつねのコンちゃんとかりの木のおじいさんのふれあいを通して、「命のつながり」という大きなテーマを伝えます。

やなせ先生には当財団の作品として、「やさしいライオン」「チリンの鈴」「はだかのワニ」など数々の作品をご提供いただき、長きに渡り当財団の評議員も務めていただくなど、大変お世話になりました。昨年10月の計報には、団員は皆、驚きを禁じえませんでした。

初演は平成14年度ですが、今回は台本、人形美術ともに新たに手を加えての再演となります。

やなせ先生の原作に込めた想いを丁寧に読み込みながら、作品づくりを進めています。

「そっくりのくりのき」のテーマは、「ひとつの命が終わっても、次の世代に受け継がれていくこと＝命のつながり」です。

この作品を保育園、幼稚園にご紹介すると、多くの先生方から「命のことは、保育のなかでも大切にしていること」というお話が返ってきます。

くりの木の若木たちに、くりの木の命が受け継がれていったように、この作品に込められたやなせ先生の想いをしっかりと子ども達に伝えられるべく、一杯努力を重ねてまいります。

(制作部 榎本千里)



恒例の無料観劇会

えることができました。

新年が明けてほつとしたのも束の間、記録的な大雪に見舞われました。すぎのこでも27時間車内に閉じ込められた班や、一日中移動して数キロしか進めなかった班、雪の降る前に帰ってきて雪の降る前に出発した要領のよい班など、いろいろありました。雪の影響で公演の遅れや、延期になってしまった園には、大変ご迷惑をおかけしました。

新しい年度に入り、いよいよ8月には創立50周年を迎えます。飯能研修センターに於きましては、4月29日(昭和の日)に、またまた無料の観劇会を執り行います! こちらは周年行事ではなく、毎年恒例の行事ですが、今年もお茶やお菓子をご用意して皆様のご来場をお待ちしております。お近くに来られる方は、ぜひお立ち寄りください。

時間や詳細につきましては「飯能研修センター 白石」までご一報ください。

TEL 042-971-4121

(制作部 白石高章)

園からの お便り

わらしべ長者

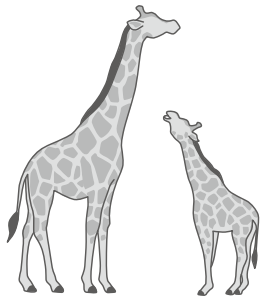
■沼上保育園(静岡県静岡市)

子ども達は、人形の細かい動きが面白かったようで、熱心に見ていました。話の内容もわかりやすく、明るく楽しいものだったので、3歳児も怖がることなく見ることができました。後日、5歳児は絵本を見ながら友達同士で人形劇の様子を話したりして、楽しんでいました。

初めての観劇でしたが、とてもよかったです。

■藤枝橋幼稚園(静岡県藤枝市)

楽しいお話に大人も子ども



も見入っていました。ところどころで笑いもあって、面白かったです。いろいろ変わる景色のしかけが、子どもたちの目を引いて、楽しかったようです。

背景や音もさまざまで、どの子も興味津々に見ていました。私達保育者にとっても、お遊戯会の劇を考えるとときの参考させていただくことがいくつもあり、大収穫でした。

かもつごんべえ

■聖公幼稚園(大分県大分市)

当園では、2月に発表会を行います。そこで、大きな声、大きな動作はもちろんのこと、役になりきることに挑戦した劇作りに力を入れています。すぎのこの方々の演技力は、子ども達にとっても良い刺激となりました。また、子ども達の引きつけ方、楽しませ方等、私達教員にとっても学ぶことが多い、とても充実したものでした。

つべー! ドービー

■青山保育園(兵庫県姫路市)

子ども達はもちろん、職員にとっても興味ある内容で、今回も楽しんで見させていただきました。場面の転換も多数あり、子ども達も集中して鑑賞することができました。次回も楽しみにしています。

■福田先生(奈良県大和高田市)

発表会前なので、舞台装置や小道具、演じ方など、とて

も参考になりました。0歳児も部分的にはありますが、手招きしたり、声を出したりしていたのが印象的でした。

■わかすき保育園(宮崎県日南市)

場面が変わるたびに驚かされました。舞台を見る子ども達のキラキラした表情に、本物を見る大切さを感じました。

たのきゅうのわばみたじ

■西条ルーテル幼稚園(広島県東広島市)

劇を見ている間もその後も、子ども達は顔を輝かせ、心から楽しんでる様子でした。「おもしろかったー!」「また見たい!」「へびが怖かった!」など、感想もさまざまでした。楽しい観劇の機会をありがとうございました。

■野市幼稚園・PTA(高知県香南市)

導入の「だいこん・にんじん・ごぼう」は、身近な野菜の話だったので、子ども達も興味深く見ることができました。本編では、命が吹き込まれたように生き生きと動く人形の様子に、子ども達は吸い込まれたように観ていました。驚いたり笑ったり、まるで登場人物になっ一緒にうわばみたいじゅをしながらのようでした。



千葉県市川市百合台保育園より

■詫間幼稚園(香川県三豊市)

子ども達は話の中に引き込まれていて、大蛇が出て来たときも、その怖さを楽しんでいるようでした。

■安和保育園(高知県須崎市)

1歳になったばかりの子どものみなので観劇はどうかかなと思いましたが、小さい子も楽しんで見ることができてよかったです。一番小さくあまり歩かない子が、体でリズムをとったり、他の子と一緒に手をたたいたりしていたのが驚きでした。

ほんわか劇場

■あつる池上保育園(東京都大田区)

保育士も作るうと思えばできるような材料を使った小道具で、手作り感が感じられ、子どもも大人も楽しむことができました。お話もバラエティーに富んでおり、途中に入るアドリブなどで、子ども達はさらに楽しさが増したように思いました。

㊦㊦㊦ みんなすぎのこ①

～5歳入学を考える～

昨平成25年5月、自由民主党は、新たな教育改革案を公表しました。私たちが注目したのは幼児教育の無償化と、6・3・3制の見直しでした。昭和22年以来、67年ぶりの大改革です。



現行の6・3・3制を、5・4・3もしくは4・4・4にするとの提案でした。

これは中一ショック解消のためで、確かに思春期入り口の12歳と13歳をスムーズに通過するには、良案かと思えました。

ところが、本年2月の修正案を見ますと、さらに5・4・4制の記述もありました。足し算をすると13年になります。はてな？ と思いましたが、小学校入学を5歳としては、ということです。

世界的にはフランス、ドイツなど多くは6歳入学ですが、イギリスは5歳入学、フィンランドは7歳入学です。

義務教育を早くスタートさせるメリットも多いとは思いますが、「同一性」が教育の目的かとの批判もあります。また一方では、私立幼稚園の経営はどうなるのか、との懸念も生まれます。

知識が必ずしも知恵に結びつかないということも、私どもの経験で明かです。知識か情操教育か。幼児年齢では、やはり情操教育に手を挙げたい。「三つ子の魂百までも」が、古稀翁の実感です。 (下西 勝彦)

「影絵紙芝居の作り方」講習会

去る1月29日(水)、北九州市私立幼稚園連盟第一ブロック主催による「影絵紙芝居の作り方」講習会が、福岡県北九州市小倉ステーションホテル大宴会場・飛翔で開催されました。

がスクリーンに映しだされ、先生方から思わず「きれい！」という歓声があがりました。

そして、いよいよ影絵紙芝居の製作です。市内各幼稚園から参加した62名の先生方は、昼間の保育でお疲れの中、熱心に影絵紙芝居づくりに励み、個性豊かな作品がいくつも完成しました。ぜひとも各園に帰ってから保育の中で活用していただきたいと思っています。

すぎのこでは、これからも時間やお金をかけずに、何時でもどこでも、一人でも演じられ、窓に貼れば壁面構成などに生かすことができる「影絵紙芝居の作り方・使い方」講習会を実施してまいります。

この講習会は、古くから日本人の心を育んできた民話や伝説をもう一度見直して、地域の人達と共に子ども達に伝承することによって、「しなやかな感性と、優しく逞しい日本人の心」を再発見するよいきっかけにできたら、という願いのもとに、全国各地の教育施設・福祉施設に呼びかけて実施しているものです。

作業を始める前に、すぎのこが頒布している影絵紙芝居DVDの作品の中から、「かさじぞう」のお話を観劇していただきました。影絵紙芝居講習会を実施してまいり



(下村あきら)

平成25年度賛助会員御高名 (順不同)

(平成26年3月17日現在)

昨年度中も多くの賛助会員の皆様や篤志家の方々に、多大なるご支援を賜りました。関係各位への感謝の気持ちを込めてご報告させていただきます。

北海道／川端由男、村井謙、藤田喜代司、山崎紀男、三丈民子、山田勉、長谷嘉子、高田カヨコ 山形県／榎本トジ子、榎本大志、本間彰、本間敦子 宮城県／内館昭子 茨城県／奥野節子、伊藤博胤 千葉県／土倉広子、岩田克夫、岩井睦子、海老澤高美、佐藤澄子、榎本貢、上田桂太郎、吉永満夫、鈴木知子、高梨照子、堀米富子、平賀みね、松本文子、板倉圭子、小倉清、五嶋郁子、山家一恵、亀山旗江、佐々木栄美子、緑川訓子、羽田仁子、松本幸、嶋田真智子、鈴木和子、堀田真弓 埼玉県／深尾雅彦、古賀正弘、島崎貴弘、待井洋三、渡邊隆子、島崎純子、高野和子、後藤敏枝、榑崎環、進藤潤、石森知子、三上和美、坂口陽、渡辺洋子、大岩昌嗣、株式会社アイエヌイー・インターナショナル、細田建設株式会社、有限会社ライフ・ジョイ、有限会社人形劇団ばふ 東京都／藤原義久、藤原富子、池田織江、諸泉ふたば、賀来良江、梅村太一、稲坂弓、高山亨、田崎邦男、江頭文沙江、小林嘉則、来馬達朗、安倍季昌、丸山郁雄、杉本知佳子、小澤龍一、平尾麻衣子、鳥海栄、松原剛、飯村福二、内村癸未子、片山光男、水野均、大野勝正、高左右英男、高左右篤子、吉内直子、榑崎茂彌、榑崎由美、安井里佳子、本田優子、吉川潔、加藤慎一、井谷洋子、村上政子、風間常江、関和江、関良子、浅野博子、高木政則、大江戸観光株式会社、株式会社佐藤しのぶアートガーデン、株式会社スベック、有限会社げんごろう 神奈川県／西村千代子、町田春男、小澤正見、岡村津夜子、大倉喜代司、平山熊三郎、山口松夫、佐々木晃、猪川邦子、小川克己、草山清和、柴垣知紀、宮下敏子、青野泰三 群馬県／有限会社干保建設工業 長野県／神林十四江、石塚雅弘 静岡県／井上順之 愛知県／杉原元司、千田靖子 奈良県／物部一郎 三重県／有賀信雄 大阪府／竹垣幸子 鳥取県／池澤正子 山口県／福山洋子、福山貢 愛媛県／加戸守行、白石純子、白石祥子、中村スミ子 福岡県／田中久弘、井原慶子 熊本県／福田勇一郎 海外／榑崎卓馬 (敬称略)

平成25年度寄附者御高名 (順不同)

宮城県／佐藤一郎 千葉県／岩田克夫 埼玉県／古賀正弘 東京都／安倍季昌、松本玲子 (敬称略)

賛助会員を募集しています！

賛助会は、すぎのこの理念・目的に賛同する個人や団体の方々に、当財団の活動を側面から支援していただくものです。入会された方には、会員証と共に入会の証としてアンパンマンでおなじみのやなせたかし先生がデザインした、すぎのこ「すくすく」バッジ(写真)をお贈りいたします。



すくすくレモン (入会3年未満)



すくすくレバー (入会5年以上)



すくすくオレンジ (入会5年未満)

公益財団法人すぎのこ芸術文化振興会 定款施行細則「賛助会規程」

- 賛助会に「賛助会規程」を以下に定める。
- 賛助会に関する基本事項に関しては、定款第45条によるものとする。
- 賛助会は、当法人の目的に賛同し、事業や業務を支援する個人・団体賛助会員からなりその内容は次のとおりとする。
- 賛助会費を納める「会費制賛助会員」

個人	年額	3,000円 以上
団体	年額	10,000円 以上
- 知識、技能、労力を提供する「技能制賛助会員」

個人	年間	3日間以上
団体	年間	5日間以上
- 賛助会員になろうとする者は、申し込み用紙に必要事項記入のうえ、会費(技能提供予定書)を添えて当法人事務局に提出し理事長の承認を受けなければならない。
- 納入された会費は管理運営費並びに賛助会運営費に使用する。
- 賛助会員が退会しようとする場合、所定の退会届に必要事項記入のうえ、当法人事務局に届け出る。
- 会費制賛助会員が2年以上会費を滞納した場合、技能制賛助会員が2年以上知識、技能、労力の提供がなかった場合は、自然退会として扱う。
- 理事長は、賛助会員の当法人への理解や支援、賛助会員同志の意志の疎通や親睦を図るため、会員の中から若干名の世話人を選び、世話人の中から代表世話人を選任し世話人会を設置する事が出来る。
- 世話人会が設置された場合、世話人は代表世話人の下に、前4項の目的を達成するための事業や業務を、理事長の指導のもとに企画し実施する事が出来る。
- 賛助会員は、この法人が刊行する図書及出版物等の優先的配布、その他この法人の行う行事に関して優先的な取り扱いを受ける事が出来る。
- 賛助会員が、会員として相応しくない行為があると認められる時は、世話人会及び理事会の、各々3分の2以上の議決により除名する事が出来る。
- 前項の理由により除名する場合、理事長は、予め本人からの文書または口頭での意思表示を求め、理事会において最終判断をする。
- 納入された会費及び提供された技能はいかなる理由があろうとも返還はしない。
- この賛助会規程を改廃しようとする場合、理事会の議決を経なければならない。

独立行政法人日本芸術文化振興会
芸術文化振興基金助成事業



日本芸術文化振興会 芸術文化振興基金の助成事業 平成25年度「わらしべ長者全国巡回公演」を完了いたしました。

子ども達に「夢と希望」を届

けたい。そんな想いを胸に活動

を続けてきた我々は、創立50周

年を目前にして、改めて原点に

立ち返り、昔話を通して培って

きた日本人の心を後世に受け継

ぐべく、民話「わらしべ長者」

を取り上げました。

助成事業における160日間

で、全国で延べ2万7千人余り

の子ども達に届けることができ、各地の公演先から好評の声やお便りをたくさんいただきました。助成事業実施日数、及び回数は次の通りです。

日本芸術文化振興会のご支援

に心より御礼申し上げます。

巡回公演	日数	回数
北海道	45	79
茨城県	1	2
栃木県	3	4
群馬県	2	4
埼玉県	10	15

千葉県	5	8
東京都	2	2
神奈川県	2	2
山梨県	1	2
静岡県	4	7
福岡県	16	29
佐賀県	8	23
長崎県	29	52
熊本県	4	5
大分県	14	32
宮崎県	7	12
鹿児島県	7	18
合計	160	296

公益財団法人 JKA 補助事業



公益財団法人 JKA 「平成25年度 青少年の健やかな成長を

育む活動」補助事業の完了に伴

い、この事業によって作成され

た影絵紙芝居用舞台50台、民話

影絵DVD150セット（2作

品1セットで6作品作成・各50

セット）が、東日本大震災被災

地の宮城県の自治体を通じ、図

書館、教育・福祉関連等の公共

施設に無料贈呈されました。

贈呈先の施設から反響が届い

ています。子ども達からの感想

の一部をご紹介します。

「かげえなのに、すぐく見やす

かったし、上手でした。色もつ

いていたので、すごいなと思

いました。初めてかげえを見たけ

れど、かげえがふつうに絵をか

いているように見えたのですご

いなと思いました。」（小学四年

生女兒）

「かさじぞうを見て、教科書に

のついているのとぜんぜんちがっ

ていたの、とてもびっくりし

ました。けれど、とてもおもしろ

かったです。（中略）じいさ

まは、とてもやさしい人だなと

思いました。また、見たいです。」

（小学二年生女兒）

すぎのこは、これからも民話

影絵を子ども達に届ける活動を

続けてまいります。創立50周年

の今年は、東日本大震災復興

「夢と希望と笑顔の輪を！」祈

念事業第3弾として、宮城県で



「みんな伝承フェスティバル・宮城」を開催いたします。民話や影絵を通して、未来を担う子ども達が美しい心をあたため、思いやりのある社会が実現していくことをスタッフ一同、心より願っております。

補助を賜りました公益財団法人 JKA のご支援に、心より御

礼申し上げます。

事務局よりご挨拶

いよいよ平成26年度が始まりました。すぎのこは8月1日に創立50周年を迎えます。

たった一名で創立し、文字通りゼロから出発した「すぎのこ」ですが、これまで人形劇を観劇いただいた多くの皆様、賛助会員、個人の篤志家の方々や御支援・御後援賜りました団体の皆様方に、心より御礼申し上げます。

創立時より「どの子にもナマの舞台の感動を！」というスローガンで始まった私どもの活動は、現在も変わることなく幼稚園・保育園を中心とした巡回公演のパイオニアとして、たくさんの方の御声援をいただいております。

今年秋には、一昨年来開催してきた東日本大震災復興「夢と希望と笑顔の輪を！」祈念事業第3弾として、創立50周年記念事業「みんな伝承フェスティバル・宮城」を宮城県で開催する予定です。このフェスティバルには中国・韓国から人形劇団を招聘し、3カ国出演によるみんなの競演も予定しております。一部では、島根県隠岐の島町竹島や沖縄県石垣市尖閣諸島を巡る緊張が伝えられる昨今ですが、芸術文化を通じた各国との交流が、相互理解を深める良い機会となることを願って止みません。

（清水 治）

劇団研究生を募集しています

すぎのこでは、子ども達にナマの舞台の感動を届ける仲間

岡本 圭和子



制作でお世話になることになりました。

私は、すぎのこの人形劇の優しくて温かいところが好きです。

一園でも多くの園と良い関係になれるよう、丁寧な仕事を心がけて頑張りたいと思います。

よろしく願います。

寺田 美紀



2月下旬に入団し、先輩方の公演を見学させてもらっています。

観客の方々が笑ったり歓声を上げたりする様子を後ろから見ているだけでも、とても幸せな気持ちになります。

これから、いよいよ稽古です。見学で知った「お芝居の楽しさ」を胸に、精進してまいります。初旅が楽しみです。どうぞよろしくお願いいたします。

活動記録（平成26年1月～3月）

1/7	第三期全国巡回公演開始
1/8	影絵紙芝居の作り方講習会開催 於・名田幼稚園（和歌山県御坊市）
1/29	影絵紙芝居の作り方講習会開催 於・北九州市小倉ステーションホテル（福岡県北九州市）主催・北九州市門司区私立幼稚園連盟
2/11	影絵紙芝居の作り方講習会開催 於・中津市中央公民館（大分県中津市）
2/26	第五回定例理事会 於・当財団事務所
3/5	平成二六年度事業計画並びに収支予算書を内閣府に提出
3/26	影絵紙芝居の作り方講習会開催 於・さしま郷土館ミューズ（茨城県坂東市）主催・坂東市立猿島図書館
3/29	第三期全国巡回公演終了